

スポーツセーフティ セミナーのご案内

主催:(公財)日本スポーツ協会公認 アスレティックトレーナー岡山県協議会

日時	2018年5月27日(日)10:00~15:30(9:30~受付)
会場	りゅうそうクリニック 2F リハビリテーション室 (岡山市中区藤原 79-2) ※駐車場は第2駐車場を使用してください ※会場へのセミナーに関するお問い合わせはご遠慮ください
内容	【講義:10:00~12:00】【実技:13:30~15:30】 『スポーツ現場での緊急時対応について』 「熱中症」「脳振とう」「心肺蘇生法」等 講師:佐保 豊 氏 , 実技補助:陣内 峻 氏
対象	トレーナー、監督、コーチ、指導者、教育関係、医療治療関係、選手、保護者など
受講料	会員:¥3000 学生:¥1500 一般¥5000
申込先	協会 HP→『各種研修会のご案内』→ http://jasa-at-okayama.com/contact/

【講師紹介】

佐保 豊 氏 ATC,CSCS

所属:NPO 法人 Sports Safety Japan 代表理事



略歴: ネバダ州立大学ラスベガス校卒業、ATC 取得後、NHL でのインターンをきっかけに長野オリンピックにて日本男子代表アイスホッケーチームに就き、その後トータルで 20 年間従事。期間中は男子チームヘッドトレーナーとしてだけでなく連盟理事なども務めた。サッカーにおいても南米チリにて同国代表チームやプロクラブチームにトータルで 3 年、帰国後は Jリーグ、日本サッカー協会にも所属しフットサル W杯などにも帯同した。その他 R-body project、山手クリニックなどの立ち上げにも関わり、様々なスポーツ事業の運営に携わる。現在は、2007 年より自身で NPO 法人スポーツセーフティージャパンを立ち上げスポーツの安全に関する啓発を中心に活動中。

「スポーツセーフティークoncept」抄録:

日本のスポーツ現場において、何をもち「安全」と言えるでしょうか。

スポーツ現場で安全管理体制を構築することは、心肺蘇生法のクラスを受けたり安全マニュアルを作ることではありません。安全な環境は、最低限の教育を受けた「人」がいること、救急に必要な「物」があること、そして緊急時に機能する「体制」が準備されていることが条件です。多くの死亡事故や重篤な後遺症が残るような事故は、安全管理体制の整っていない学生もしくはアマチュアレベルで起きています。マンパワーも物も予算も取れない、典型的な日本のスポーツ現場において、どのように安全な環境を構築できるでしょうか。あらゆるスポーツの現場において現実的な解決策を皆さんと考えたいと思います。